

## 防災訓練時の無線報告事項 (003 二中)

## 1. 7時00分防災訓練開始 7時05分 中央分団災害対策本部 開局 (通話例)

001 「001 より中央分団各局、ただ今より中央分団災害無線を開局します」

001 「001 より中央分団各局、傍受した部はありますか？」

002 「002 より001 へ傍受しました。」 001 「001 了解」

003 「003 より001 へ傍受しました。」 001 「001 了解」

## 2. 各部への確認と指示 (通話例)

001 「001 より601、そちらの状況は？」

601 「601 より001、現在火災ナシ、団員3名集合」

001 「001 より601、町内の巡回を始めて下さい。」

601 「101 了解、これより巡回を開始します。」

## 3. 各部との情報交換 部同士の交信を確認したら、割り込み現状確認 (通話例)

601 「601 より401 へ…」 001 「001 より401 へ、現状報告お願いします。」

401 「401 より001 へ ただ今巡回中、駅前付近異常なし」 001 「001 了解」

7時25分頃 八日市場第二中学校体育館前に到着 003 は以下の指示を出す。

## 4. 7時35分 待機場所での確認事項

003 「003 より八日市場第二中 担当部の101・301・601 現着していますか？」

101・301・601 各部より「現着しています。待機中です。」

## 5. 7時35分ごろ 団本部役員 (団長) より003 へ「倒壊家屋からの救助要請」

003 は担当部の301 へ無線で指示を行う。

003 「003 より301 へ」 301 「301 です。003 どうぞ」

003 「中央地区 田町 東光社にて 建物倒壊 住民が閉じ込められたとの連絡あり」  
「至急現場に向かい、状況報告をして下さい。」

301 「301 了解」

## 003 は避難所に居る副市長へ口頭で報告

「中央地区 田町にて倒壊家屋からの住民救出要請があり、中央3部が対応中です。」

301 「301 より 003 へ」

003 「003 です」

301 「倒壊家屋に到着しました。これより救助作業を始めます。」

003 「003 了解」

中央3部はその後の作業報告を随時行う「倒壊家屋から救出完了」「避難所へ搬送開始」

003 は消防団本部と避難所に居る副市長へ口頭で報告

電話 「中央分団八日市場第二中です。中央3部、倒壊家屋に到着」

口頭 「敬礼」「中央3部、倒壊家屋に到着、これより作業開始と連絡あり」「敬礼」

その後の中央3部の現場報告を副市長に随時報告しても良い。

## 6. 7時45分 行政防災無線により「火災防御訓練開始」

「現着」を確認したら 003 は消防団本部と避難所に居る副市長へ口頭で報告

電話 「中央分団八日市場第二中です。中央1部・6部 火災現場到着しました。」

口頭 「敬礼」「中央1部・6部、火点到着、これより作業開始します。」「敬礼」

「放水」を確認したら 003 は消防団本部と避難所に居る副市長へ口頭で報告

電話 「中央分団八日市場第二中です。中央1部・6部が放水開始しました。」

口頭 「敬礼」「中央分団、これより放水開始します。」「敬礼」

7時55分 火災防御訓練部へ放水中止

003 「003 より 601 へ火災鎮火 放水止め」

601 「601 放水止め 了解」

601 「601 より 101、送水を中止して下さい。」

101 「101 送水中止了解」

「鎮火」を確認したら 003 は消防団本部と避難所に居る副市長へ口頭で報告

電話 「中央分団八日市場第二中です。火災は鎮火しました。」

口頭 「敬礼」「八日市場第二中 裏山火災は鎮火しました。」「敬礼」

7時55分 救助訓練部

八日市場第二中学校へ搬送終了にて訓練終了 003 は口頭で「中央3部無事救助完了」

「搬送」を確認したら 003 は消防団本部と避難所に居る副市長へ口頭で報告

電話 「中央分団八日市場第二中です。中央3部、救助作業終了しました。」

口頭 「敬礼」「中央3部・無事救助完了」「敬礼」

7. 撤収作業が終わり次第 体育館前に各部を集合
8. 9時00分 解散
9. 若潮公園防火水槽の補水（中央3部） オプトあきら裏防火水槽の補水（中央1部）

各部への連絡事項（予定）

■10月27日(日)

中央分団合同手入れ

開始時間・内容は本部役員団庫巡回の開始時間に合わせ決めます。

■10月27日(日)

匝瑳市消防団本部役員による各部の団庫巡回

※中央分団合同手入れ・本部役員団庫巡回の詳細については後日配布します。

■11月9日（土）9時～（予定）

普通救命講習

■11・12月の中央分団合同手入れは行いません。

例年通り、地元の防火水槽及び消火栓点検の実施